

活用事例
01LIFE※1 フィードバック事業者票
「科学的介護推進体制に係る評価」の活用

>ケアへの展開

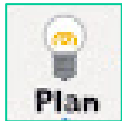


STEP1 まずは、「自事業所」のケアがどのような状況か把握
「自事業所」と「全国平均」を比較→気づき



自事業所は全国平均と比べて、「口腔ケア」の実施割合が低いようだね

STEP2 方針や方向性を示す



💡「口腔ケア」に力をいれていこう！

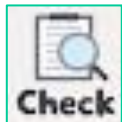


ユニットリーダー会議・ユニット会議

STEP3 職員が意識して「口腔ケア」を実践♪



STEP4 LIFE関連帳票を確認♪



【6ヶ月後】

歯・入れ歯が汚れている 全国平均28% **自事業所17%**

【1年6ヶ月後】

歯・入れ歯が汚れている 全国平均28% **自事業所11%**



職員は口腔ケアを継続してくれているね♪

※1) LIFEとは

介護に関するさまざまなデータを収集し、それを分析してフィードバックするためのWebシステムのこと

- ①エビデンスに基づいた介護の実践
- ②科学的に妥当性のある指標等の現場からの収集・蓄積及び分析
- ③分析の成果を現場にフィードバックすることで、更なる科学的介護を推進)



活用事例

02

LIFE※1 フィードバック事業者票

「科学的介護推進体制に係る評価」の活用

>ケアへの展開



STEP1 まずは、「自事業所」のケアがどのような状況か把握
「自事業所」と「全国平均」を比較→気づき



要介護度や平均年齢
が高い傾向ですね

その割に障がい高齢者の日常生
活自立度が高い方が多いわね



でも、自分から挨拶したり、話
し掛ける方、挨拶や呼びかけ
に対して返答や笑顔が見られ
る方が多いですね

ADL※2合計点も45点以
上の方が多くですね！



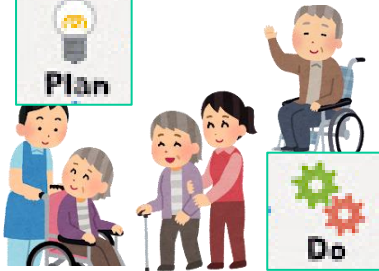
認知症の方の割合が
かなり高いですね



STEP2 仮説をたてる♪



要介護度を押し上げている要因は認知症のようだね
でも、ADL合計点が高く、リアクションのある方も多いので、
この特徴を日常生活の中のケアに活かそうだね！



STEP3 方針や方向性を示す

💡ご入居者は、もっとアクティブな生活を送っていただくことができるのではないかな？



STEP4 LIFE関連帳票を確認♪

【6ヶ月後】障がい高齢者・障がい高齢者
の日常生活自立度やADLやHP記事など



継続して実
施してくれ
ているね♪



※1) LIFEとは
介護に関するさまざまなデータを収集し、それを分析してフィードバックするためのWebシステムのこと

- ①エビデンスに基づいた介護の実践
- ②科学的に妥当性のある指標等の現場からの収集・蓄積及び分析
- ③分析の成果を現場にフィードバックすることで、更なる科学的介護を推進)

※2) 日常生活動作(Activities of Daily Living)。日常生活動作(ADL)に関する機能的評価指標で10項目について得点評価を行う。得点が高いほど機能的評価も高い。



社会福祉法人 鈴鹿福祉会

鈴鹿グリーンホーム



鈴鹿グリーンホームHP

活用事例
03LIFE※¹ フィードバック事業者票
「科学的介護推進体制に係る評価」の活用

➤ケアへの展開

STEP1 まずは、「自事業所」のケアがどのような状況か把握
「自事業所」と「全国平均」を比較→気づき自事業所は低栄養のリスク
レベル「高」の方の割合が
多いわ？でも、BMI※²はコンディ
ションがいい方が多いわね提供栄養量も摂取栄養量も
高いね、どうしてかな？

STEP2 仮説をたてる

血清アルブミン値
測定無し 57%
測定有り 43%💡当ホームは全入居者の血清アルブミン値※³
を測定しているけれど、全国平均を見ると測
定している事業所の割合は少ないようね…

STEP3 専門職と軽くディスカッション♪(確認)

血清アルブミン値を測定しているか
らではないでしょうか？
体重減少者には、間食や補食で足り
ない栄養量をフォローしています

管理栄養士

どうしてだ
と思いますか？

STEP4 栄養関連帳票を確認♪

血清アルブミン値をリスクレベル評価に
入れずに再計算…「低」 21% → 41%(+20%)
「中」 47% → 45%(▲ 2%)
「高」 32% → 14%(▲ 18%)

【当ホームの入居者平均】

BEE(基礎エネルギー消費量): 950kcal/日
TEE(総エネルギー消費量): 1,226kcal/日
摂取栄養量: 1,364kcal/日

※1) LIFEとは

介護に関するさまざまなデータを収集し、それを分析してフィードバックするためのWebシステムのこと

①エビデンスに基づいた介護の実践

②科学的に妥当性のある指標等の現場からの収集・蓄積及び分析

③分析の成果を現場にフィードバックすることで、更なる科学的介護を推進)

※2) 低栄養状態のリスクの判断に用いる指標のひとつ。体重(kg)を身長(m)²で除した数値で、18.5未満が「中リスク」と判断される。

※3) 低栄養状態のリスクの判断に用いる指標のひとつ。3.0~3.5mg/dlが「中リスク」、3.0mg/dl未満が「高リスク」と判断される。



社会福祉法人 鈴鹿福祉会

鈴鹿グリーンホーム



鈴鹿グリーンホームHP

活用事例

04

LIFE※1 フィードバック事業者票

「科学的介護推進体制に係る評価」の活用

➤ケアへの展開



STEP1 まずは、「自事業所」のケアがどのような状況か把握

「自事業所」と「全国平均」を比較→気づき



ADL(10項目)を見てみると、当ホームはほとんどすべてで、全介助の方の割合が少ないわね

ADL合計点の0-25点の方の割合も低いし、日常生活自立度が高い傾向が継続しているようですね



排便と排尿コントロールの全介助・一部介助・自立の割合は全国平均は排尿も排便も、ほぼ同じ割合なのですね！

でも、どうして当ホームでは排便と排尿コントロールの全介助・一部介助・自立の割合が全く違うのかしら？



STEP2 仮説をたてる♪



Q 排せつのコントロールを評価するためには、排せつがある前にトイレに誘導して、実際にしていただかないと、評価ができないのでは？しかも職員は、排便と排尿、それぞれ個別に対応してくれているのではないかな？

STEP3 専門職と軽くディスカッション♪
(確認)

ちょっと、教えて！



ユニットリーダー

手すりなどにつかまり、5cmでもお尻が浮けばトイレに案内します
尿意や便意が曖昧でもトイレに行けないと決めつけずにトライしています

STEP4 LIFE関連帳票で一覧化し、再確認♪

↑厚生労働省HP「ケアの質の向上に向けた科学的介護情報システム(LIFE)の利活用に関する事例集(R3.4)」
事例08をご参照ください

- ※1) LIFEとは
介護に関するさまざまなデータを収集し、それを分析してフィードバックするためのWebシステムのこと
- ①エビデンスに基づいた介護の実践
 - ②科学的に妥当性のある指標等の現場からの収集・蓄積及び分析
 - ③分析の成果を現場にフィードバックすることで、更なる科学的介護を推進)
- ※2) 日常生活動作(Activities of Daily Living)、日常生活動作(ADL)に関する機能的評価指標で10項目について得点評価を行う。得点が高いほど機能的評価も高い。



社会福祉法人 鈴鹿福祉会

鈴鹿グリーンホーム



鈴鹿グリーンホームHP

LIFE関連帳票

活用事例

05

LIFE※¹ 関連帳票（8つの様式）の活用

➤ケアへの展開

※別紙、活用事例05(1)～(3)をご参照ください



STEP1 ケアプランとLIFE関連帳票を確認！

→帳票から気になった点を拾い出す

①興味・関心チェックシート、②口腔機能管理加算(実施計画)、…、⑧自立支援促進に関する評価・支援計画書、⑨ケアプラン、⑩24時間シートを逆から順に見ていこう！



ケアマネジャー



カウンターに並べて見てみると、とても分かりやすいですね



ケアのポイントやご本人の生活に対する意味や意義に関係する箇所をマージングしていく！

そうすることで、ケアプランや24時間シートに位置付けるべき項目か、位置付けるべき場合はどのように位置付けるか、判断しやすくなる！



STEP2 状態変化の比較と確認

現状のケアがご本人の自立支援につながっているかなど、一定期間の状態変化を確認



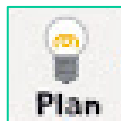
STEP3 専門職と軽くディスカッション♪(確認)



実際にご本人らしい生活をどのように送られているか、あらためて職員に確認



ケアワーカー



STEP4 ケアプランの改善(原案の作成)

QOLの観点から「興味・関心チェックシート」を重視！

ご本人の興味や関心があることに着目して、ケアプランに位置付けることを心がける

意欲や生活の充実感を損なうことなく、自立(自律)的な生活を送れるようなプランになるといいな

ケアマネジャー



※1) LIFEとは
介護に関するさまざまなデータを収集し、それを分析してフィードバックするためのWebシステムのこと

- ①エビデンスに基づいた介護の実践
- ②科学的に妥当性のある指標等の現場からの収集・蓄積及び分析
- ③分析の成果を現場にフィードバックすることで、更なる科学的介護を推進)



社会福祉法人 鈴鹿福祉会

鈴鹿グリーンホーム



鈴鹿グリーンホームHP

LIFE関連帳票

活用事例
05 (1)LIFE※¹ 関連帳票 (8つの様式) の活用

➤ケアへの展開

STEP1 ケアプランとLIFE関連帳票を確認！
→帳票から気になった点を拾い出す

【事例】➤90歳台 女性 要介護4

➤障がい高齢者の日常生活自立度A2※²➤認知症高齢者の日常生活自立度Ⅲb※³

※当ホームでは加算算定の有無にかかわらず、すべてのLIFE関連帳票を作成しています

カウンターに並べて
見てみると分かり
やすいですね！ケアプランに
位置付けた方
がいいかな？音楽会に参加されて
いるのは、ご本人に
ってこんな意味が
あるんだね。。。

⑩24時間シート

⑨施設サービス計画書(ケアプラン)

⑧自立支援促進に関する評価・支援計画書

⑦褥瘡対策に関するスクリーニング・ケア計画書

⑥排せつの状態に関するスクリーニング・計画書

⑤個別機能訓練計画書

ケアプランから遡って、
その意味や意義など
を順番にみていく④生活機能チェックシート(ADL※⁴)

③栄養・摂食嚥下スクリーニング・アセスメント・モニタリング

②口腔衛生管理加算(実施計画)

①興味・関心チェックシート

※1) LIFEとは
介護に関するさまざまなデータを収集し、それを分析してフィードバックするためのWebシステムのこと

①エビデンスに基づいた介護の実践

②科学的に妥当性のある指標等の現場からの収集・蓄積及び分析

③分析の成果を現場にフィードバックすることで、更なる科学的介護を推進)

※2) A2:外出の頻度が少なく、日中も寝たり起きたりの生活をしている状態

※3) Ⅲb:日中を中心として日常生活に支障を来すような症状・行動や意志疎通の困難さが見られ、介護を必要とする状態

※4) 日常生活動作(Activities of Daily Living)。日常生活動作(ADL)に関する機能的評価指標で10項目について得点評価を行う。得点が高いほど機能的評価も高い。



社会福祉法人 鈴鹿福祉会

鈴鹿グリーンホーム



鈴鹿グリーンホームHP

LIFE関連帳票

活用事例
05 (2)LIFE※¹ 関連帳票 (8つの様式) の活用

STEP2 状態変化の比較と確認

1 年 前

- ・低栄養リスク : 「中」リスク
- ・ADL(BI) : 55
※椅子とベッド間の移乗:「座れるが移れない(5)」
※入浴:「一部介助(0)」
- ・DBD-13※⁵: 8
任意項目含む 15
- ・興味関心チェックシート:
「していること」 8
「してみたい・興味がある」13

←変化なし→

←+10→

←▲3→

←▲7→

←+10→

←+10→

直 近

- ・低栄養リスク : 「中」リスク
- ・ADL(BI) : 65
※椅子とベッド間の移乗:
「監視下(10)」
※入浴:「全介助(0)」
※両下肢の支持性低下が見られる
- ・DBD-13 : 5
任意項目含む 8
- ・興味関心チェックシート:
「していること」 11
「してみたい・興味がある」23



現状のケアはご本人の自立支援につながっているようだね！
スタッフも本人の興味や関心を上手く引き出して、ケアを行えているようだね！

STEP3 専門職と軽くディスカッション♪(確認)

- ・音楽会(体操)は特に好んで参加されています
 - ・完全ではないですが、できることが増えていっています
 - ・亡き旦那さんとのエピソードをお話されているときが最も表情が輝いています
- 職員もほっこりした気持ちになります



ケアワーカー



※5) 認知症の行動・心理症状を客観的に評価する指標で、13項目について数値評価を行う。
得点が低いほど認知症の行動・心理症状が見られない。



社会福祉法人 鈴鹿福祉会

鈴鹿グリーンホーム

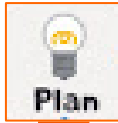


鈴鹿グリーンホームHP

活用事例
05 (3)LIFE※¹ 関連帳票 (8つの様式) の活用

STEP4 ケアプランの改善

緑文字:ご本人が「していること」、「してみたいこと」、「興味のあること」



改善前

生活全般の解決すべき課題 (ニーズ)	長期目標	短期目標	サービス内容
# 1 入院中に体力が低下しています。食事や飲み物をキッチンで摂ったり、トイレに行くなど支援が必要な状態です。	(1) 身の回りのことが自力でできるようにする。	① 排泄つや食事・移動が介助で行えるようにする。	- 本人の状態を確認して必要な介助を行う。 - 食事や排泄つやの見守り 日中はトイレに付き添い、夜間はおむつを使用、状態を見守り・ポータブルトイレの設置、コールに対応する。(動作を確認しながらできないところは介助をする。転倒しないように見守る。) - 心身の状態に合わせて運動を行う。 - 離床時間を増やす。 - 生活動作の訓練、歩行練習
# 2 入浴したい。	(1) 入浴が続けられ、清潔が保てる。	① 必要な介助を受けて入浴ができるようにする。	状態に合わせて入浴方法を検討し、安全に更衣や洗身、移動などができるように支援する。(転倒に注意する。)
生活全般の解決すべき課題 (ニーズ)	長期目標	短期目標	サービス内容
# 3 病状が安定し、食事が進むようにしたい。	(1) 安定した体調で生活できる。	① 体調管理が行える。	- 心身の状態観察 - 服薬の介助 - 不安がないように適宜声掛けする。

改善後

生活全般の解決すべき課題 (ニーズ)	長期目標	短期目標	サービス内容
# 1 在宅生活を延長した生活を送りたい。	(1) 健康状態を保つことができる。	① 下肢筋力を維持することができる。	- 個別機能訓練の実施 - 生活リハビリの実施 - テレビ体操、散歩などへの参加
		② 現在の健康状態を維持する。	- 心身の観察、健康チェック、配薬・服薬確認 - 安心できるように接する。
		③ 栄養状態を維持する。	栄養ケアの実施
	(2) 身体の清潔を保つことができる。	① 支援を受けながら入浴できる。	- ふらつきや転倒リスクに注意する。 - マンツーマン入浴の実施 - 洗濯など一部介助を行う。 - ゆっくり入浴する。 - 身体観察、浴後のケアを行う。
生活全般の解決すべき課題 (ニーズ)	長期目標	短期目標	サービス内容
# 1 在宅生活を延長した生活を送りたい。	(2) 身体の清潔を保つことができる。	② トイレで排泄つやすることができ。	- 排泄つやリズムの把握 - トイレに行きたいという希望に副い、日中はトイレを使用
		③ 口腔の清潔を保つことができる。	口腔ケアマネジメントの実施 (アセスメント、実施、評価)
	(3) 意欲的な生活を送ることができる。	① 外出や他者との交流を通じ、生きがいや楽しみを感じられる。	- 他者との接点を多く持つ。 - 会話の機会を持つ。 - 心身の充実感を期待し、タオルたたみ等簡単な生活行為の実施 - 音楽会への参加 - テレビ鑑賞 (映画や演奏会など) - ホーム周辺の散歩 - 花や野菜作りへの参加

ケアマネジャー



ご本人の興味や関心があることに着目しながら、ケアプランに位置付けることによって、意欲や生活の充実感を損なうことなく、自立(自律)的な生活を送ることにつながっていると思います

スタッフはLIFE関連帳票に記載されている内容をケアプランに反映していることが理解できた?

ご本人主体のケアプランに近づけた?



←活用方法の詳細は、厚生労働省HP「ケアの質の向上に向けた科学的介護情報システム(LIFE)の利活用に関する事例集(R3.4)」事例10をご参照ください

